シリーズ企画 : シリーズ企画「光と影」その３　吉村美智子展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2009-8-17 13:28:19 (2253 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「光と影」その３
吉村美智子展ー陶ー
日常のシルエット

2009.9.15(火)〜27(日)　24(月)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
※26日(土)17:00よりささやかなパーティーを行います。
………………………………………………

なくては困るわけでないなら
本当は必要ないのでしょうか

けれど何でもないものに涙するとき
この気持ちはどこへやりましょう

日常の中から生まれるもの

無意味はとても美しい

………………………………………………
………………………………………………
吉村美智子

1981年　生まれ
2004年　京都造形芸術大学　陶芸コース卒業
2005年　Ecole des arts decoratifs (Switzerland)3ヶ月間留学
2006年　京都造形芸術大学　大学院修了

【グループ展】
2002　12 二人展　西陣ほんやら洞ギャラリー（京都）
2005　8 陶五人展　祇をん小西(京都)
2007　9 jeunes ceramistes voyageurs(スイス　ジュネーブ)
2008 11 不器用展　GALLERY RAKU(京都)

三橋登美栄のブログ「吉村美智子展　ー陶ー「日常のシルエット」(2009.9.15〜27)を終えて」もご覧ください

トラックバック・コメント (0)

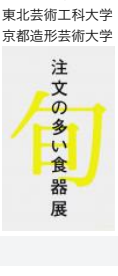
展覧会情報 : 松本圭太展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2009-7-30 23:43:22 (2581 ヒット)

松本圭太　〜注文の多い食器展〜
2009.9.1(火)〜6(日)
12:00〜19:00(最終日17:00)
………………………………………………
これは一人のしがない作家の展示会です。
しかしひとつ大きなことを言うならば、
本展示会は陶芸の新たな美意識、価値観の創造の場であるということです。
この若輩者の戯言に興味を持ってお付き合いいただけたら幸いです。
皆様のご来場を心よりお待ち申し上げております。　松本圭太
………………………………………………

松本圭太

１９８２年生まれ
東北芸術工科大学　美術科工芸コース卒業
京都造形芸術大学　大学院在籍



トラックバック・コメント (0)

展覧会情報 : MDS美術研究所10人の個展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2009-5-14 22:07:21 (2132 ヒット)

MSD美術研究所10人の個展
2009.6.2(火)〜7(日)
12:00〜19:00(最終日17:00)

池田正子　井手弘子　金山恵美子　寺地あさこ　辻　葉多子
福井尚子　藤原海尋　松島　聖　松尾梅子　三宅克尚

主宰　連　規子　京都市立芸術大学　美術学部卒
ロンドンエコロジーセンターギャラリー個展
現代陶彫展優秀賞
デュークエリントンオーケストラ美術
水墨画による絵本製作
イギリス色の街装丁
陶の布製作法特許等
………………………………………………

今回MDS美術研究所で学ぶ10人の展覧会は特に受験生は省き、
小、中学生を含む一般の美術愛好者の絵を展示します。
私はアメリカのデュークエリントンオーケストラとのコラボなどを経験しましたが、
英、米に限らずカナダやフランスの美術を支えている美術愛好家の層が日本に比べて非常に厚いこと、
そして美術家の地位が大変に高いことに驚きました。
今回は美術を愛することがプロを支えること。ということで、
感動する要素は作家の年期や技術だけにあるのではなく、
作品に込められた努力や強い願いや深い思いであるということではないか、
というテーマでこの展覧会をすることにしました。
どうぞ偏見にとらわれず、素直な気持ちで
ご高覧いただきますよう心からお願い申し上げます。
主宰　連　規子

続き... | トラックバック・コメント (4)

シリーズ企画 : シリーズ企画「光と影」その２　三木陽子展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2009-4-28 23:44:00 (1815 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「光と影」その２
三木陽子展
2009.5.19(火)〜31(日)　25(月)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
………………………………………………
私は日常存在しているにも関わらず、見えない世界があることをいつも感じています。
見えない世界の存在感は、恐怖心や好奇心を伴いながら、私を根源的な深淵へのイメージにいざなってくれます。
シリーズ企画のテーマである「光と影」は、私が表現している小さな陰陽の世界につながり、
また、「ギャラリー揺」の畳のある室内から、耳枕のタイトルが湧きました。
「ギャラリー揺」の空間ならではの、私の陶作品によるインスタレーションをどうぞご覧下さい。

「耳枕」
聞こえる聞こえる　白く小さな息遣い
近づく近づく　黒く大きな闇の声

………………………………………………
………………………………………………

三木 陽子

1963　兵庫県生まれ
1986　大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸専攻卒業
1988　大阪芸術大学芸術学部芸術専攻科工芸専攻修了
2001〜　大阪芸術大学芸術学部工芸科陶芸コース非常勤講師

［個展］
1988　ギャラリー白（大阪）／'90
1993　ギャラリーマロニエ（京都）／'95,'97
2002　ギャラリータフ（京都）／'06
2005　ヴォイス・ギャラリーpsf/w（京都）／'07
2005　ストリートギャラリー（兵庫）
2008　麻布十番ギャラリー（東京）

［主なグループ展］
1985　BOX MAKER'S SHOW（ギャラリーView, 大阪）／'86,'87
1985　３人展 (ギャラリーピクチャー, 大阪)
1985　NEW FACE展（ギャラリーView, 大阪）
1986　ハートWAパラダイス展（ギャラリーView, 大阪）
1986　２人展（ギャラリー白, 大阪）
1986　TO展（アトリエ西宮, 兵庫）
1987　うねりのモーメント（HOT STUDIO, 大阪）
1988　-EMON・OSAKAジョイント展- (福岡市美術館,福岡)
1991　YOHEN-鏡変-妖変（ギャラリー白, 大阪）
1993　ETO展 (守口京阪百貨店, 大阪)／('93〜05)
1994　FACE TO FACE　（ギャラリーココ, 京都 ）
1994　ミニアチュール1994　（ギャラリーココ, 京都）／'95
1996　12日間の小品展　（ギャラリータフ, 京都）
1998　-FUKUSUKE-　（ギャラリーにしかわ, 京都）
1999　光うさぎ何みて跳ねる展　（ウエストベスギャラリーコヅカ, 名古屋）
1999　ザ,オマモリ展　（ギャラリーマロニエ, 京都）／'00
1999　PRIN RECORD展　(SUMISO, 大阪）／'00
2001　THE BAG 街を歩くアート（ギャラリーにしかわ, 京都）
2001　喫茶思考 (近鉄阿倍野百貨店, 大阪)
2002　ふたのあるかたち（ギャラリーにしかわ, 京都）
2004　stay with art　〜境界線〜 (HOTEL T'POINT, 大阪)
2005　multiple market（ヴォイス・ギャラリーpfs/w, 京都）
2005　美の冒険者たち〜大阪芸術大学造形系学科教員作品展（アートコートギャラリー, 大阪）／'06
2005　shopping art exhibition （「shin-bi」, 京都）
2006　art in transit（ザ・パレスサイドホテル, 京都）
2007　フタのあるカタチ展（多治見市文化工房　ギャラリーヴォイス、岐阜)

［公募展］
1986　朝日現代クラフト展（東京, 大阪）
1986　八木一夫賞現代陶芸展'86（京都, 大阪）／'87
1986　第1回　国際陶磁器展美濃'86（岐阜）
2004　公募　京都芸術センター2004 "How would you make the world better? "（京都）
………………………………………………
三木陽子ホームページ　http://www.mikiyoko.com

トラックバック・コメント (0)

展覧会情報 : マーレングラスリッツエン 第4回関西展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2009-4-28 23:06:16 (2319 ヒット)

マーレングラスリッツエン 第4回関西展
ーガラスを愛すー
2009.5.12.tue〜17.sun　12:00〜19:00(last day 17:00)
5月12日(火)午後5:30より、ささやかなオープニングパーティーをいたします。
………………………………………………
マーレングラスリッツエンとはドイツ語で
「マーレン」絵を描く「グラス」ガラス「リッツエン」傷を付けるという意味です。
ガラスに絵を描くように彫る。
先端にダイヤモンドの付いたペンを用い全て手彫りでスクラッチ(線彫り)
ステップング(点描)などの技法でガラスに傷を付け
白くし絵画表現するガラス工芸です。
今回は50点余りの作品を一堂に展示致します。
名画あり、レース、風景、更紗模様など
どれも手の込んだ作品を一点一点じっくりと御高覧戴ければ幸いです。

………………………………………………
………………………………………………

プロフィール

桂木朝子

1981　成安女子高等学校　美術コース入学
1984　成安女子短期大学　造形芸術科　染織コース　染専攻　入学
1986　同校　造形芸術科　専攻科　入学
1987　京展　入選
1988　全日本新人染織展　入選
　京展　入選
　京都　ギャラリーマロニエ　FAIBER TOPICS　5人展
　I・T・Fインターナショナルコンペティション　入選
　同校　研究生として在籍
1989　京都　ギャラリーギャラリー　個展研究生　修了
1997　京都　ギャラリーギャラリー　ミニアチュール展　出品
　マーレングラスリッツエンをいとうえりこに師事
1998　S・G・Aスイス・グラス・アンバサドリネンの日本認定講師　資格取得
1999　朝日カルチャー　大阪中之島教室講師を務める
　第一回「パッション展」お台場ビッグサイト出品
2000　芦屋楽々カレッジ　ギャラリークラインハウス教室講師を務める
　京都　自宅カルチャー開設
2001　大阪　ギャラリー祥　いとうえりこ一門展　出品
2002　京都　法然院　「夢幻」関西展開催
　朝日カルチャー京都教室講師を務める
　ＮＨＫ文化センター大阪　梅田教室講師を務める
2004　横浜みなと未来駅「ハリーポッター原画の世界展」出品
2005　神戸　王子市民ギャラリー「百花繚乱」関西展開催
　ＮＨＫ文化センター　京阪守口教室講師を務める

トラックバック・コメント (0)

シリーズ企画 : シリーズ企画「光と影」その１　長谷川政弘展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2009-4-16 22:02:36 (2364 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「光と影」その１
長谷川政弘展
2009.4.28(火)〜5.10(日)　7(木)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
………………………………………………
面がある　線を描く　切る　折り曲げる　光を受ける
そして影が生まれる。
果たして私のつくったものたちは　揺(1/fゆらぎ)の中で
どう響き合うのだろうか？

自らしつらえた空間で五月の光と影を楽しみたい。

………………………………………………
………………………………………………

長谷川 政弘

1961 香川県丸亀市に生まれる
1984 大阪芸術大学工芸学科金属工芸専攻卒業
1986 金沢美術工芸大学大学院彫刻専攻修了
現在　大阪芸術大学非常勤講師　京都精華大学非常勤講師

個展
番画廊（大阪市）ギャラリーマロニエ ガーデンミュージアム比叡（京都市）
　三越（日本橋本店）（高松）（池袋）小西（祇園）等で20回開催

主なコンクール・グループ展
1990 神戸須磨離宮公園現代彫刻展　準入選　（'94も同じ）
1995 '95日向現代彫刻展　出品（'98年まで'02年も出品）
1996 KAJIMA彫刻コンクール　模型入選（'02年も同じ）
2000 足立区野外彫刻入選、設置候補（'01 '03年も同じ）
関西の作家6人の6脚展　招待（神戸ファッション美術館）
2001 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2001　入選（北海道/洞爺村）
2003 第14回ラベンナダンテスコ国際ビエンナーレ（イタリア/ラベンナ）
EXPO CULTURE JAPAN QUEBEC　招待（カナダ/サン・ソーバー）
2004 Emaar 国際アートシンポジウム　招待（アラブ首長国連邦/ドバイ）
光と花のページェントin淡路夢舞台（兵庫県東浦町）
2005 京都新鋭選抜展（京都市美術館）
Luleå Summer ビエンナーレ　招待（スウェーデン/ルレオー）
2006 国際彫刻ビエンナーレChaco Argentina 招待 (アルゼンチン/レジステンシア)
Small is Beautiful　5人展 (韓国/ソウル)
2007 第22回現代日本彫刻展　模型入選（山口県宇部市）
2008 Voice two men 二人展（韓国/ソウル）

受賞
1991 第２回風の芸術展ビエンナーレまくらざ 佳作賞
1993 アートビエンナーレ京都'93 優秀賞
1997 第5回風の芸術展ビエンナーレまくらざき 準大賞
1998 朝来2001野外彫刻展in多々良木'98 佳作賞
'98日向現代彫刻展 市民大賞
1999 第31回京都野外彫刻　京都府買い上げ賞
2000 第１回印旛村野外芸術展inいには野　佳作賞
2001 朝来2001野外彫刻展in多々良木2001　町民賞
2006 国際彫刻ビエンナーレChaco Argentina 3等賞 彫刻家賞

パブリックコレクション
京都キタオオジタウン（京都市）
株式会社こんどう本社ビル（福井県大飯町）
枕崎市資料センター南溟館（鹿児島県枕崎市）
日向市文化交流センター（宮崎県日向市）
株式会社フクセン本社ビル（福井県小浜市）
京都府立医科大学基礎医学学舎（京都市）
あさご芸術の森美術館（兵庫県朝来町）
Emaar Corporation（アラブ首長国連邦/ドバイ）
淡路夢舞台 奇跡の星植物館（兵庫県東浦町）
Sculpture park Kronan（スウェーデン/ルレオー）
Music Park（アルゼンチン/レジステンシア）
在アルゼンチン日本大使館（アルゼンチン/ブエノスアイレス）
枕崎アートストリート（鹿児島県枕崎市）

トラックバック・コメント (0)

展覧会情報 : 堀田 淳一 展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2009-3-17 21:11:43 (2613 ヒット)

堀田淳一展　桜
2009年4月14日(火)〜26日(日)
12:00〜19:00(最終日は17:00)
20日(月)休廊

………………………………………………
………………………………………………

堀田 淳一

画歴

１９６０　堺市に生まれる

１９８５　大阪芸術大学美術学科彫刻専攻卒業

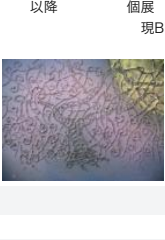
１９８８　パンリアル美術協会会員　同展覧会以降毎回出品

１９９１　京都新聞日本画賞展　以降毎回出品

１９９３　選抜展

１９９９　堺美術協会役員
　BRIDGE会員（現　堺国際交流美術家連盟BRIDGE)

以降　個展　グループ展　海外展多数
　現BRIDGE事務局長



トラックバック・コメント (0)

シリーズ企画 : シリーズ企画「ズレ」その５　三橋登美栄

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-11-18 1:10:58 (1935 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「ズレ」その５
三橋登美栄展
「Moving Through Time」
2008.12.2(火)〜14(日)　8日(月)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
13日(土)17:00〜closing party
………………………………………………
2003年以来、京都で5年ぶりの個展です。
前回の個展は時間経過を日めくりカレンダー様式に表現しました。
今回も同じテーマで、時間を空間に置き換えて表現しています。
　＊日頃忘れている過去を思い出す空間
　＊過去と未来の流れの中にいる今の空間
　＊未来を展望する空間
この時間の流れを３つのスペースに展示します。
どうぞご覧ください。
三橋登美栄

………………………………………………
………………………………………………

三橋登美栄

1946年　滋賀県大津市生まれ
1967年　京都女子大学短期大学部卒業
1976年　下村良之助に師事
1994年　パンリアル美術協会入会・会員（2001年退会）
2005年　京都・銀閣寺前町にギャラリー揺を開設

[個展]
1993年　巣作り　ARTSPACE NIJI　京都
1994年　Build a Nest　Imagine　滋賀
1995年　芽　Imagine　滋賀
2001年　IN SEED　アートライフみつはし　京都
2003年　A Daily Pad Calendar　ギャラリーすずき　京都
2005年　IN SEED 2　Augustana Lutheran church　アメリカ

[グループ展]
1985年　鈴木靖将・三橋登美栄２人展　堺町画廊　京都
1990年　BAO芸術祭in沖島　琵琶湖・沖島全土　滋賀
1992年　絵画教室・朋展（以降３年毎）　田中新　滋賀
1994年　パンリアル展（以降2001年迄毎年）　京都市美術館　京都
1997年　日韓中・国際交流展　タンソンギャラリー　韓国
　万灯会万灯展（以降毎年）　妙蓮寺　京都
1998年　ART SPICE展　アートライフみつはし　京都
2000年　ニッコーを支えるチャリティ・オークション　大丸京都店　京都
　比良から新しい風が・・・Part8　比良美術館　滋賀
2001年　鬼展　同時代ギャラリー　京都
　平塚浩平・三橋登美栄２人展　ホテル ハット・ウォールデン　山梨
2002年　藤原昌樹・三橋登美栄２人展　シション, POLLYANNA　山梨
2003年　版画ミニフェスタ　楓ギャラリー　大阪

[公募展]
1981年 京都市美術展 京都市美術館 京都
大津市美術展毎日新聞社賞 大津市民会館 滋賀
1982年 山総美術展佳作賞 山総美術 京都
1983年 上野の森美術館大賞展（'89,'92,'94,'97) 上野の森美術館 東京
滋賀現代絵画展('85,'86) 滋賀県立近代美術館 滋賀
1984年 日仏現代絵画展第3席 東京都美術館 東京
同上 グランパレ美術館 フランス
仏メリニャック国際ビエンナーレ推薦出品 メリニャック市庁舎 フランス
山総美術展 山総美術 京都
1985年 日仏現代絵画展（'86,'87) 東京都美術館 東京
同上 グランパレ美術館 フランス
1986年 東京セントラル美術館日本画大賞展 セントラル美術館 東京
1987年 山総登龍会優秀作家展 山総美術 京都
IBMびわこ現代絵画展佳作賞('91) 滋賀県立近代美術館 滋賀
1989年nIBMびわこ現代絵画展('90,'92,'95) 滋賀県立近代美術館 滋賀
1993年 上野の森美術館大賞展賞候補 上野の森美術館 東京
1995年 びわこ現代造形展 浜大津港前広場 滋賀
1999年 花の美術大賞展（'00,'01) 加西市民会館 兵庫
2000年 西脇市サムホール大賞展 西脇市岡之山美術館 兵庫
FUKUIサムホール美術展準大賞 福井カルチャーセンター　福井
2001年 FUKUIサムホール美術展奨励賞 福井カルチャーセンター　福井

続き... | トラックバック・コメント (2)

シリーズ企画 : シリーズ企画「ズレ」その4　林 勇気

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-10-31 0:37:10 (2472 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「ズレ」その4
林 勇気 展
「つづきのつぎ」
2008.11.18(火)〜30(日)　24日(月)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
サウンド協力：大谷修平(Samurai jazz)
………………………………………………

コメント：
京都のアトリエとギャラリーとの間を幾度も歩きながら写真を撮影した。
撮影した写真を切り抜いていき、撮影した順番に横一列にならべていった。
そうして構成された世界の中を、撮影した切り抜いたりしたことを
追体験するかのように、私自身（の写真でつくられた映像）が歩いていく。

このような行為と映像制作を通して、
空間と時間と自分のおもいとのあいだにある世界をよりシンプルに
提示しようとしているのかもしれない。
この映像作品の制作を今後もかさねていくことで
もっと別の意味がたちあがってくるかもしれない。

たったひとつ確信していることは、
撮影した「いまここ」からはいつも過ぎかっているということ。
過ぎ去った「いまここ」の集積からできあがった世界。
「いまここ」からのつづきのつぎへ。
林 勇気

………………………………………………
………………………………………………

林勇気

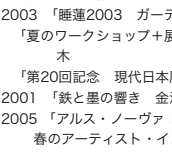
1976　京都生まれ
1997　映像の制作をはじめる。
1999〜2002　映像作家 大木裕之の映像作品に撮影と編集で参加
現在は宝塚造形芸術大学の専任講師

【個展】
2004　まわるとするなら / ギャラリー三条（京都）
2005　とどくとおもった、そら / ギャラリー三条（京都）
2006　LAST BOY LAST GIRL / ギャラリー三条（京都）
2007　やすみのひのしずかなじかん / gallery neutron（京都）
2008 ちいさなまひ / gallery neutron（京都）
　つづきのつぎ / ギャラリー揺（京都）
12月-1月 予定 / 世界の終わり the end of the world / IID gallery（東京）

【主なグループ展】
2003　STARTART001 / 絹見美術館（京都）
2004　アウト　ザ　ウインドウ / 国際交流基金フォーラム（東京）
　Project Space ZIP（韓国）
　旋律の映像 / gallery neutron（京都）
　透過する音楽 / 京都芸術センター（京都）
2005　裏・アートマップ / 京都芸術センター（京都）
　PLOP ASIA TOUR / Agnes b CINEMA!（香港）、他
2006　AMUSE ART JAM / 京都文化博物館（京都）
2007　トランスメディアーレ　（ドイツ）
　新進アーティストの発見in あいち / 愛知芸術文化センター（愛知）
　AMUSE ART JAM in Tokyo / 新宿高島屋（東京）
　かげらな夏 / gallery neutron（京都）
　Pre-Jam 2007 / ARTZONE（京都）
2008　DIGITAL MEDIA　(スペイン・バレンシア)
　音暗 / 神戸アートビレッジセンター（兵庫）
　Art Court Frontier 2008 #6 / アートコートギャラリー（大阪）
　ART OSAKA / 堂島ホテル（大阪）

【主な映画祭】
2002　バンクーバー国際映画祭　（カナダ）
　高尾国際映画祭　（台湾）
2003　香港国際映画祭　（香港）
　ナッシュビル国際映画祭　（アメリカ）
　アジアン・アメリカ国際映画祭　（アメリカ主要都市を巡回）
　ソウルフリンジフェスティバル　（韓国）
　ソウルビデオフェスティバル　林勇気プログラムで特集上映　（韓国）
2004　バルセロナアジア映画祭　（スペイン）
　ニッポン　コネクション　（ドイツ・フランクフルト）
2006　イメージフォーラムフェスティバル / 新宿パークタワー（東京）、他
　トロント・リール・アジアン国際映画祭　（カナダ）
2007　ASK? 映像祭 / art space kimura ASK?（東京）
　イメージフォーラムフェスティバル / 新宿パークタワー（東京）
　北海道立近代美術館（北海道）、他
2008 animation soup / HEP HALL（大阪）
Indie AniFest 光乱の交差路 / （韓国）

【主な受賞】
1999　動楽映楽・アニメーション実験映像劇場 / 香山リカ賞 受賞
2002　イメージフォーラムフェスティバル/ 審査員特別賞 受賞
2006　トロント・リール・アジアン国際映画祭/ Most Innovative Film or Video Production Award 受賞
　AMUSE ART JAM/ 準グランプリ 受賞



続き... | トラックバック・コメント (2)

展覧会情報 : 島本田鶴子+金沢健一展

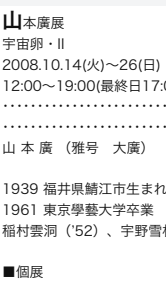
投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-10-5 0:01:28 (2595 ヒット)

島本田鶴子+金沢健一展
墨と鉄の響き
2008.11.4(火)〜16(日)　10(月)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
オープニング・パーティー　初日17:30より

「音のかけら」パフォーマンス
11.4(火)17:00〜17:30
16(日)15:00〜15:30
………………………………………………
島本田鶴子

略歴
静岡県生まれ　東京女子大書道部にて柏原たみ子氏に師事。
橋本味玉氏に師事し仮名を学ぶ。石川九楊氏に師事した後
1997年以降個展活動を現在に至る。
1979年〜1997年公募展、グループ展に出品。

1997年 5月 第1回個展「線の線」法然院(京都)
7月 ソウル・キョウト・ヨス展（現代美術）出品
ソウル・マンソンギャラリー(ソウル,韓国)
9月 ヨス・麗水 鎮南文芸館(ヨス,韓国)
1998年 10月 第2回個展「線の線」法然院(京都)
1999年 5月 「室礼とアートの出会い」展（京都）
2000年 6月 個展「線の線/trait du trait」同時代ギャラリー(京都)
2000年 7月 個展　下鴨茶寮(京都)
2001年 2月 MBS (毎日放送) T.V番組「真実の料理人」タイトル文字『真実の料理人』
2001年 4月 MBS (毎日放送) T.V番組「魔法のレストラン」
スタジオ内展示『魔法』（4月より毎週水曜19:00〜20:00)
2001年 12月 個展「線の線/trait du trait」同時代ギャラリー(京都)
2002年 8月 個展　企画展「思考する筆 I」東京銀座ギャラリー江(東京)
2003年 10月 個展　「思考する筆 II」同時代ギャラリー(京都)
2003年 12月 個展　日本美術技術センタークラクフ国立博物館(クラクフ, ポーランド)
2005年 5月 個展　企画展　京都安楽寺、ギャラリー花いろ(京都)同時開催
11月 個展「スクラッチされた言葉」同時代ギャラリー(京都)
2006年 3月 グループ展「書と非書の際」京都JARFO(京都)
5月 巡回展「屏風展」(パリ等, フランス)
11月 グループ展「懐疑と捏造ーアートのジレンマ展」
ギャラリーフロール京都精華大学
2007年 2月 個展　企画展「新たな書の発見ーにじみとかすれ」
Espace Culturel Bertin Poiree(パリ, フランス)
3月 「DREAM」アジア現代作品展出品
C.G. BOERNERギャラリー(ニューヨーク,アメリカ)
6月 個展　TINA NEWTON GALLERY (バーミングハム,アメリカ)
10月 個展　「めぐる　彼方・・・」同時代ギャラリー(京都)
2008年　1月　グループ展　「書と非書の際」京都JARFO



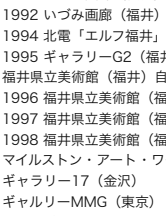
………………………………………………
………………………………………………

金沢健一

略歴
1956 東京都生まれ
1979 東京芸術大学美術学部工芸科鍛金専攻卒業
1981 東京芸術大学大学院美術研究科修了

個展 (2000年以降の主な活動)
2000　ギャラリーなつか('02,'03,'05,'08)
　「ラボラトリィ2　共鳴する空間　金沢健一　音のかけら」新津市美術館／新潟
2001　「金沢健一　音のかけら展」感覚ミュージアム　ウォーターガーデン／宮城
2002　「はがねの変相ー金沢健一の仕事」川崎市岡本太郎美術館／神奈川
2003　「音のかたちー金沢健一展」 安曇野ちひろ美術館／ 長野
　「金沢健一　振動態展」 ＫＳＰギャラリー／神奈川
2004　「金沢健一展」 鉄の形と色と音」板室観光ホテル大黒屋／栃木
　「金沢健一「音のかけら」〜目と耳と手を結ぶ」 川越市立美術館／埼玉
2005 慶応義塾大学日吉キャンパス来往舎現代藝術展２「金沢健一　響きの庭　一目で聴く音、耳で見る形ー」／神奈川
　五感の都市へ　仙台芸術遊泳　「共鳴する美術館＜音のかけら＞金沢健一展」宮城県美術館
2006 「金沢健一「音のかけら」とワークショップ展」川越市立美術館市民ギャラリー／埼玉('07,'08)
2007 「金沢健一「音のかけら」とパフォーマンス」上野の森美術館ギャラリー／東京

グループ展（2000年以降の主な活動）
2000 「知覚するかたち」福井県立美術館／福井
「子どものための美術展2000　アートで学ぼう・アートを遊ぼう」広島市現代美術館／広島
「A★MUSE★LAND 2001 アート・体感・ミュージアム」北海道立近代美術館／北海道
2001 「第4回務引の里と彫刻」真壁郡大和村／茨城（'03,'06,'08)
「光の記憶〜VIEW／SOUND〜」三菱地所アルティアム／福岡、京都芸術センター／京都　Gallery KURANUKI／大阪,ヨコハマポートサイドギャラリー／神奈川
「life／art '01」資生堂ギャラリー／東京（'02,'03,'04'05)
「私にできることーみる、きく、ふれるの探検」府中市美術館／東京
2002 「カフェ・イン・水戸」水戸芸術館／茨城
「第２７回釧路市民文化展アート音楽館」釧路市立美術館
2003 「睡蓮2003　ガーデン　山荘の時間」アサヒビール大山崎山荘美術館／京都
「夏のワークショップ＋展覧会」金沢健一「鉄・かたち・音」みることきくこと　ふれること宇都宮美術館／栃木
「第20回記念　現代日本彫刻展」＜毎日新聞社賞, 市民賞＞　宇部市野外彫刻美術館／山口
2001 「鉄と墨の響き　金沢健一／北山清智子」 HermanMiller Gallery／東京
2005 「アルス・ノーヴァ 現代美術と工芸のはざまに」東京都現代美術館　常設展示室／東京
　春のアーティスト・イン・レジデンス「手と目と耳の先へ」国際芸術センター青森／青森
　「世界の呼吸法　アートの呼吸　呼吸のアート」川村記念美術館 佐倉市立美術館／千葉
　「もうひとつの楽園　Alternative Paradise」金沢２１世紀美術館／石川
　五感の都市へ　仙台芸術遊泳　「コラボアートラボ」せんだいメディアテーク／宮城
2007 「ウチナル音〜身体音からの造形ー」 ボーダレス・アートギャラリーNO-MA／滋賀 「たんけん! 子ども工芸館」東京国立近代美術館工芸館
「鉄と熱の風景」Gallery Bar Kajima／東京
「五感アートラボ」卸町イベント倉庫／宮城
「千住Art Path 2007」東京芸術大学千住校
地
2008 「私がみている向うがわ からだで感じる美術展」横浜市民ギャラリーあざみ野／神奈川
　「音に恋した美術展」安曇野市豊科近代美術館／長野　唐津市近代図書館／佐賀　釧路市立美術館／北海道
　「ひびきあう音色形」高松市美術館／香川
＜コレクション＞
1981 国立国際美術館／大阪
1982 東京都現代美術館
1988 原美術館ARC／群馬
1994 ファーレ立川／東京
1997 板橋区立美術館／東京
1998 愛知県児童総合センター／愛知
2000 新潟市新津美術館
2002 静岡県立美術館
資生堂アートハウス／静岡
2004 北海道立近代美術館
　川越市立美術館／埼玉



続き... | トラックバック・コメント (2)

展覧会情報 : 山本廣展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-9-30 23:23:56 (3929 ヒット)

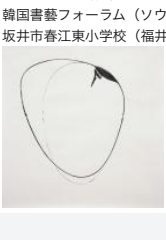
山本廣展
宇宙卵・II
2008.10.14(火)〜26(日)　20(月)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
………………………………………………
山 本 廣（雅号　大廣）　Yamamoto Hiroshi　（　pen name Taiko　）

1939 福井県鯖江市生まれ
1961 東京学芸大学卒業
稲村雲洞（'52）、宇野雪村（'54）に書を学ぶ

■個展
1966 画廊紅（京都）
1967 画廊紅（京都）
1981 MAY（武生）
1984 ギャラリーZEN（鯖江）
1986 いづみ画廊（福井）
1989 アール・ギャラリー（武生）
1990 ギャラリーZEN（鯖江）
1991 いづみ画廊（福井）
1992 いづみ画廊（福井）
1994 北電「エルフ福井」ギャラリー（福井）
1995 ギャラリーG2（福井）
福井県立美術館（福井）自主企画（3つの個）
1996 福井県立美術館（福井）自主企画（3つの個）
1997 福井県立美術館（福井）自主企画（3つの個）
1998 福井県立美術館（福井）自主企画（3つの個）
マイルストン・アート・ワークス（富山）
ギャラリー17（金沢）
ギャルリーMMG（東京）
1999 ギャラリー17（金沢）
2002 ギャルリーMMG（東京）
2004 萬歳楽（石川県鶴来）
2008 ギャラリー揺（京都）

■主な出展
1955　第7回毎日書道展　第4回奎星展、以後2008現在も出品
1961　日本の書展（ナングー・ギャラリー、シアトル）
第10回記念奎星展・上田桑鳩賞（上田桑鳩単独審査）
1964　ツヴィルナー画廊展（エッセン・西ドイツ）
1965　山本廣+五十嵐彰雄展（品川画廊・福井）
1966　北美文化協会展（東京、大阪、京都、福井）以後'73年まで参加出品
1970　玄美［原］展、以後毎回出品
1977　現代書グループ「未在社」結成　「書とは…展」（ギャラリー汎・福井）以後展覧会名称を変え2008年現在まで企画出品
1979　土岡秀太郎追悼アートフェスティバル（武生市中央公民館）
1982　玄美會（ドン）展・玄美大賞（宇野雪村単独審査）
1983　第35回毎日書道展・会員賞（主催　毎日新聞社）
企画「土岡秀太郎と北荘・北美と現代美術」（福井県立美術館）
レール市日本現代文化（書）展（ハーネブルグ城美術館・西ドイツ）
1984　ニーム市・日本現代書展（フランス）
アントワープ市・日本現代書展（ベルギー）
1985　ブリュッセル日本現代書展（ベルギー）
1986　フローレンス・ローマ日本現代書展（イタリア）
1987　日本現代書展（ドリュー大学コーンギャラリー、ニューボルツ・カレッジアートギャラリー・アメリカ）
1988　毎日書道展40周年記念「日本現代書法芸術北京展」（故宮博物院、北京毎日現代書北陸代表作家展（大和デパート・金沢）（'89富山）（'91 '92福井）以後金沢、福井と交互に会場を2006（金沢）まで移動。2008からは福井市にて隔年展。
1989　Be8美術展（ショッピングディベル・福井）'90年に名称をベナール展に変えて2007（11回展）まで出品
Erotic Art展（いづみ画廊・福井）
1990　書と漆面展（ホテルオークラ　メノワ・東京）
'90ー異次元の書空間展（だるまや西部・福井）
地球が危ない、私たちの表現展（アートフォーラムスクエア　時代の風・福井）
油彩・五十嵐彰雄×紙・欄尾正次×墨・山本廣　展（アートフォーラムスクエア　時代の風・福井）
1992「山本廣作品展」（月暁舎）
1995　企画　「福井の戦後美術50年史」　（北電「エルフ福井」ギャラリー・福井）
1997「書の確認・無限展」（東京セントラル美術館・東京）　（'99も同会場、主催　奎星会）
2001「書の流れ」展（上野の森美術館・東京・主催　奎星会）
企画「アート・ドキュメント福井の美術ナウー森から町へ」（金津創作の森・金津町　現役井市）
Piece For Peace 2001「Oh NO!報復戦争」詩画展（原爆の図丸木美術館・埼玉県）（〜・02）
2002　毎日新聞創刊130周年記念「現代の書新春展」（東京セントラル美術館）
企画「いろとかたちの誕生ー空間とあそぶ」（鯖江市資料館、国指定重要文化財旧瓜生家・鯖江市）
2003 企画「現代美術の新面展・ザ・ニシノミヤ'03」（アトリエ西宮・神戸）
碩渓市美術館　「市民アトリエワークショップ」指導サポーター
「奎星選抜100人書展」（上野の森美術館、主催　奎星会）
「位相のダイアローグ展」（鯖江市資料館）
2004　企画「絵の線、書の線」（アトリエ西宮・神戸）
アメリカ西海岸巡回「日本現代書道展」（主催　書道ジャーナル社）2006年にわたって州立サンフランシスコ大学（カリフォルニア州）　UCバークレー（カリフォルニア州）　ユタ大学（ユタ州）　ウイッテンバーク大学（オハイオ州）　カリフォルニア大学（カリフォルニア州）を周る。
2005　2005ソウル書藝ビエンナーレ　特別賞（韓国・ソウル）
2006「現代の書　新春展」（東京セントラル美術館　主催　毎日新聞社）
「2006台北国際現代書芸展」（中正芸廊＜国立中正記念堂内＞台湾）
世界書藝祝祭「国際現代書藝展」（芸術の殿堂・ソウル、主催　韓国書藝フォーラム）
「韓中日現代書20人展」（物波空間・ソウル）
創立65周年記念第55回奎星展（東京都美術館）
2007　20回記念'07毎日現代書北陸代表作家展（福井県立美術館、主催　毎日新聞社）
2008 ソウル書藝ビエンナーレ「国際現代書展」（国立藝術の殿堂・ソウル、主催　韓国書藝フォーラム）　＋特別展［受賞作家特別展］（物波空間・ソウル）
上上美術館国際芸術年展（北京）
「書と非書の際」（ギャラリー サロン・ド・ヒューゴ、パリ）

■主なコレクション
オルデンブルク市立美術館（ドイツ）
日本文化会館（ローマ）
鯖江市文化会館（福井県）
桜仙会館（福井県立科学技術高校）
鯖江CCI美術館（福井県）
サバエ・コンストラクトビル（福井県鯖江市）
水仙ミュージアム＋水仙ドーム（福井県越廼村（現福井市））
サイモン・フレイザー大学ギャラリー（カナダ）
上野ケ原会館（福井県立鯖江高校）
学生ホール・ギャラリー［王山］（福井県立鯖江高校）
鯖江市資料館（福井県）
福井新聞社（福井市）
ユタ大学美術館（アメリカ）
韓国書藝フォーラム（ソウル）
坂井市春江東小学校（福井県）



続き... | トラックバック・コメント (4)

展覧会情報 : 「太陽」展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-9-24 9:47:31 (2359 ヒット)

ギャラリー揺企画　「太陽」展
ー金山巨石群を巡るアートー
2008.9.30(火)〜10.12(日) 6日(月)休廊
12:00〜19:00(最終日17:00)
………………………………………………

岐阜県下呂市に金山巨石群という縄文遺跡があります。
数千年前の人たちが太陽の動きを詳細に観測していた
とみられる興味深い遺跡です。
多くの謎を秘めた巨石群自体がアートであるともいえます。
今回の企画展は、この金山巨石群に魅せられた作家６人が
「太陽」をテーマにさまざまな作品を展示します。
太陽と人間の関わりを改めて考え、
また、金山巨石群を広く知ってもらえる機会になればと思います。
三橋　実

………………………………………………
………………………………………………

出品作家

小林 由来　徳田 紫穂　文木 啓子
藤原　信　山本 哲三　三橋登美栄

春分・秋分の頃/山へ沈む直前の太陽(photo 徳田紫穂)

トラックバック・コメント (0)

シリーズ企画 : シリーズ企画「ズレ」 その3　北本裕二

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-9-15 23:21:47 (2234 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「ズレ」
その３　北本裕二展
point of View

2008.9.16(火)〜28(日) 22(月)は休廊
12:00〜19:00(最終日は17:00まで)

………………………………………………
熱いどろどろのなか
冷たい水の底
暖かな砂浜
苔生すわたしは
あの大雨のおかげで
こうしてまた
もうすぐどろどろに
もどるのでしょう
北本裕二

………………………………………………
………………………………………………
北本 裕二
Yuji KITAMOTO

【略歴】
1981 京都市生まれ　滋賀県大津市に育つ
2004 京都造形芸術大学　陶芸コース卒業
2004　同大学　陶芸コース副手（〜2008）
2008　滋賀県立陶芸の森　スタジオアーティスト

【個展】
2006　2　北本裕二展
　『35°00'33.084"N　135°46'58.997"E　歩』展　GALLERYはねうさぎ(京都)
2007　2　北本裕二展
　『35°00'33.084"N　135°46'58.997"E　と』展　GALLERYはねうさぎ(京都)

【グループ展等】
2003　1　陶4人展　『quartette』展　GALLERYマロニエ(京都)
　3　『Now Japan 舞　Dream』出展　新風館(京都)
　10 友好提携20周年記念　『京都府陝西省交流芸術展』　京都府京都文化博物館
2005　8　陶五人展　祇をん小西(京都)
2006　5　4人展　M'sギャラリー12番丁(和歌山)
　9　ザ☆オマモリ展2006　GALLERYマロニエ(京都)
2007　2　京都府美術工芸新鋭選抜展　京都府京都文化博物館
　7　ザ☆オマモリ展2007　GALLERYマロニエ(京都)
2008　1　京都府美術工芸新鋭展2008　京都工芸ビエンナーレ　京都府京都文化博物館
2008　5　xhibition#5　GALLEY　RAKU(京都)
　7　まちなかアートin信楽　陶成アートギャラリー(滋賀)

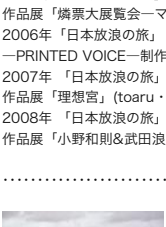
トラックバック・コメント (0)

展覧会情報 : 小野 和則 & 武田 浪

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-7-25 0:58:37 (8801 ヒット)

２００８年９月２日(火)〜１４日(日)　８日(月)は休廊
１２：００〜１９：００(最終日は１７：００まで)
オープニングパーティーは２日(火)１７：００〜
………………………………………………
陶芸の武田浪さんと現代美術作家・小野和則さんの2人展です。
隣接するアートライフみつはしにも展示。
両ギャラリーを使っての展覧会は初めての試みです。
揺の庭には小野さん、和室は武田さんの作品が展示されます。
どうぞご期待ください。　三橋　実

………………………………………………
小野和則　Kazunori ONO
1941年　旧満州国で生まれる
1971ー1980年 イタリア(ミラノ・ベルガモ)に住む
1971ー1980年 個展6回(イタリア・ドイツ)
グループ展14回(イタリア, フランス, ドイツ)
1982年　招待制作(ドイツ)
1983ー1989年 汎瀬戸内現代美術展(8th−11th)(岡山)
1984年　個展「時間採集」(大阪府立現代美術センター)
個展「時間採集」(アートスペース・西宮)
1985年　山村レクション(国立国際美術館・大阪)
1986年　アート・ナウ'86(兵庫県立近代美術館)
1987年　アート・ナウ'87(兵庫県立近代美術館)
OBJETー逸脱する物質ー(西武つかしんホール)
「部分」(ギャラリー射手座・京都)
　個展「時間採集」(ガルリエ静鳳・岡山)
個展「時間採集」(ギャラリーエクサンプロガンス・岡山)
1988年　個展「時間採集」(ギャラリーすずき・京都)
個展「時間採集」(ガルリエ静鳳・岡山)
個展「時間採集」(ギャラリーエクサンプロバンス・岡山)
「野垂れ死にの美学」イタリア(ベルガモ)にて制作
1989年　幻の山村コレクション(兵庫県立近代美術館)
滋賀・明日の美術展ー時代から時代へー(滋賀)
1990年　個展「魂の解剖学」(ギャラリーエクサンプロバンス・岡山)
「魂の解剖学」イタリア(ベルガモ)にて制作
1991年「日本放浪の旅」四駆PAJEROで始める
1992年「日本放浪の旅」
個展「魂の解剖学」(ギャラリーエクサンプロバンス・岡山)
難波道弘氏の好意による・アトリエLESSONS OF TIME・にて
制作を開始する(12.1・倉敷市児島)
1993年「日本放浪の旅」
山陽学園大学新校舎壁画作品製作(岡山)
1994年「日本放浪の旅」
個展「魂の解剖学」(ギャラリーアートスペース虹・京都)
1995年「日本放浪の旅」
COLLAGE(東京練馬区立美術館)
1996年「日本放浪の旅」
戦後美術の断面(千葉市美術館)
1997年「日本放浪の旅」
アートラビリンスⅡ・時の記憶・(岡山県立美術館)
戦後美術の断面(兵庫県立近代美術館)
1889年　「日本放浪の旅」
ーTOWARDS GAICHIー「外地に向かって」制作を始める
個展「魂の解剖学」(Salon de Vamhou・倉敷)
1999年「日本放浪の旅」
個展「REQUIEN 2000」(Salon de Vamhou・倉敷)
2000年「日本放浪の旅」
コンサート「SUーPERCUSSION by OBATA・風・小幡亨+小野和則」
作品展「大佐町光の記憶・MEMORY OF LIGHT,OSA,2000・小野和則＋井上明彦」
大佐町にて企画・制作を担当する(奥備中風土記館・岡山)
2001年「日本放浪の旅」
作品展「光の記憶・MEMORY OF LIGHT,2001・小野和則＋井上明彦」
(Salon de Vamhou・倉敷)
2002年「日本放浪の旅」
個展「ZERO 2002」(Art Garden・岡山)
2003年「日本放浪の旅」
個展「COMPLEX SYSTEMSーALL ONE between ZERO and ZEROー」
(Salon de Vamhou・倉敷)
2004年「日本放浪の旅」
個展「ーーーーーーー」(GALLRY MARONIE・京都)
作品展「小野和則＋長谷川政弘」(守山市民ホール)
作品展「コレクション展Ⅱ・日本の戦後美術」(兵庫県立美術館)
作品展「松沢宥と九つの柱」九相の未来ーﾎﾞｰﾀﾞｰﾚｽﾎﾞｰﾀﾞｰに向かって
(広島市現代美術館)
2005年「日本放浪の旅」
作品展「鏡票大展覧会ーマッチラベルのシンセカイー」(岡山県立美術館)
2006年「日本放浪の旅」
ーPRINTED VOICEー制作を始める
2007年「日本放浪の旅」
作品展「理想宮」(toaru・倉敷)
2008年「日本放浪の旅」(676,143.7km)
作品展「小野和則&武田浪」(ART LIFE MITSUHASHI,gallery yuragi・京都)
………………………………………………



………………………………………………
武田　浪　TAKEDA Rou
1942 大阪生まれ
1963 近畿大学理工学部金属工学科中退
1964 工業デザインを学びながら陶芸家 東 慶に師事する
1969 渡米、セラミックデザイナーとして永住権獲得　ロスアンゼルスにて作陶
1975　在米の八島太郎画伯に師事する
ロスアンゼルスにて個展(ウエストウッドセラミックギャラリー)
1977　帰国　滋賀県近江舞子に築窯　以降 京都を中心に各地で個展、グループ展
　近年、素材の幅を広げた造形の世界を追求している　加古川市の職員会館、常住寺、
　斎場の陶壁作成　沖縄の本部記念病院の陶板等を制作
1997頃　新しい土との出会いがあった　風情と土肌の生命感は自分のイメージから
　「鬼が島」と銘々　以後「鬼が島」の可能性を追求し続けている
　G-WINGSギャラリーで2回個展
2004　「墨と木と土」荻野丹雪、熊野清貴と3人展
2005　「墨と土」モリナオと二人展
2005　清州国際工芸ビエンナーレ国際招待作家展(韓国)
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (11)

シリーズ企画 : シリーズ企画「ズレ」 その2　小寺絵里

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-5-24 22:15:27 (2352 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「ズレ」
その2　小寺絵里展
〜メガロこっこ〜

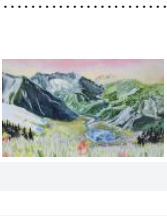
2008.6.17(火)〜29(日) 23(月)は休廊
12:00〜19:00(最終日は17:00まで)

………………………………………………
私の悩みが小さくなるように。
大きなものへの憧れを
いつも身近に感じていたい。
小寺絵里
………………………………………………
小寺　絵里（こでらえり）

略歴
１９７９年　大阪生まれ
２００３年　京都造形芸術大学洋画コース卒業

個展
２００３年　VOICE GALLERY（京都）
２００４年　Oギャラリーｅｙｅｓ（大阪）
２００５年　Oギャラリーｅｙｅｓ（大阪）
２００６年　Oギャラリーｅｙｅｓ（大阪）
２００８年　ギャラリー揺　（京都）

グループ展
２００３年　想画集２　ドローイング展　（VOICE GALLERY /京都）
２００３年　stay with art　〜眠りの情景〜 (HOTEL T'POINT /大阪)
２００６年　art incubation 05 「砂の女」と現代の美術（京都芸術センター /京都）
２００６年　ここそこ（アートカレッジ神戸 /兵庫）
２００７年　紬いの光景〜属すべき場所を探して（Oギャラリーeyes /大阪）
２００８年　concrete　(gallery Den /大阪)
………………………………………………



トラックバック・コメント (0)

シリーズ企画 : 「ズレ」　その１　寄神宗美

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-3-24 11:56:10 (2144 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画　「ズレ」
その１　寄神宗美展
Re-Creations

2008.4.22(火)〜5.5(月・祝) 28日(月)は休廊
12:00〜19:00(最終日は17:00まで)

………………………………………………
ズレにもいろいろあります。
形のズレ、時間のズレ、意識のズレ、男女のズレ、世代間のズレ等々。
一般的には好ましくない意味に使われがちですが、アートの世界では
「ズレ」が思わぬ効果を生み、新たなエネルギー、価値を生み出すことがあります。
定型や常識にとらわれない自由な発想から生まれるズレを大切にしたいと思います。
今回のシリーズ企画はこの「ズレ」に着目し、
５人の作家にそれぞれのズレを表現していただきます。
作る側と見る側の人の思いにズレが生じるかもしれませんが、
それもまた面白いのではないでしょうか。
トップバッターは陶芸の寄神宗美さんです。

三橋　実
………………………………………………
………………………………………………
寄神宗美
yorigami munemi

経歴
1944年　京都市に生まれる
1967年　東京農業大学農学部造園学科卒
1969年〜1972年　故八木一夫氏に師事
1980年　走泥社同人となる.　98　走泥社解散
1998年〜2000年　岡山県立大学デザイン学部 大学院 非常勤講師を勤める
2003年　滋賀県立「陶芸の森」　ワークショップを行う
2000年〜2005年　京都市立芸術大学彫刻科非常勤講師を勤める
現在　（社）日本クラフトデザイン協会　理事

作家活動
1980年　走泥社展出品　以降毎年出品（京都）
1986年〜1989年　現代陶芸八木一夫賞　87優秀賞受賞（東京・大阪）
1990年　第41回京都美術工芸展　優秀賞受賞(京都府文化博物館)
　「土の造形」展（栃木県立美術館）
1991年　第47回FAENZA国際陶芸展　金賞受賞（イタリー）
1992年　1992現代陶芸国際邀請展
　グランプリ受賞（台湾・国立歴史博物館）
1993年　「現代の陶芸」展（愛知県美術館）
1994年　「1994年国際陶芸博覧会」（台湾・台北市）
1999年　第５回 国際陶磁器展美濃'９９　銅賞（岐阜）
2000年　VIVA20二十世紀のデザイン展
　（ジャパン・デザイン・コミッティー主催）
　NHKBS2『やきもの探訪』寄神宗美ー破片に生命が通うー　出演
2001年　京都の工芸1945-2000（京都国立近代美術館／東京国立近代美術館）
2002年　現代陶芸の１００年展「日本陶芸の展開」（岐阜県現代陶芸美術館）
2007年　The Chongju International Craft Biennale 招待（韓国　清州）
………………………………………………

トラックバック・コメント (0)

シリーズ企画 : 「つなぐ みつめて いのち」　５人の鼓動 展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2008-1-18 16:37:02 (3235 ヒット)

2008年1月22日(火)〜2月3日(日)
12:00〜19:00(最終日は17:00まで)
28日(月)休廊

………………………………………………
出品作家
　山本 哲三
　小川 真輝
　竹股　桂
　山本 麻矢
　永沼 理善
………………………………………………
2007年3月から11月まで、5回シリーズで
展開した企画展出品作家による小品展です。
個性あふれる５人の小品展をどうぞごらんください。

三橋 実
………………………………………………

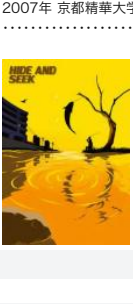
トラックバック・コメント (0)

展覧会情報 : HIDE AND SEEK

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-11-16 21:40:40 (11707 ヒット)

2007.11.27(火)〜12.9(日)
12:00〜19:00(最終日は17:00まで)
3日(月)休廊

………………………………………………
HIDE AND SEEKー「自分の中の隠れたモノを見つけ出す」
一度見ただけでは分からない画質の本質を
染織という完全な平面で表現します。
………………………………………………
中嶋大喜　プロフィール
1984年 埼玉県に生まれる
2006年 京都精華大学芸術学部テキスタイル分野卒業
2007年 京都精華大学大学院染織分野在籍中
………………………………………………



トラックバック・コメント (0)

シリーズ企画 : 「つなぐ みつめて いのち」　パートv 永沼 理善 展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-11-4 22:13:59 (2035 ヒット)

2007年11月13日(火)〜25日(日)
12:00〜19:00(最終日は17:00まで)
19日(月)休廊

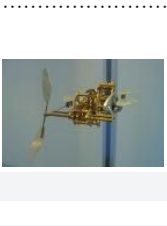
………………………………………………
「いのち」をテーマに、3月にスタートしたシリーズ企画もいよいよ最終回を迎えました。
これまで、ジャンルも年代も異なる4人の作家にそれぞれの表現方法で、
見ごたえのある展示をしていただきました。「生命を大切に」という表面的な言葉
だけでは伝わらない何かを感じとらせる秘めた力がアートにはあると思います。
いろんなアートに接する喜びを改めて感じています。
シリーズの締めくくりは永沼理善氏のメタルアートです。どうぞご覧ください。

三橋 実
………………………………………………
………………………………………………
永沼理善（ながぬま　ただよし）

略歴
1967年　神戸市生まれ
1991年　京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻　卒業
1993年　同　大学院美術研究科彫刻専攻　修了
1993年　同　大学　非常勤講師（彫刻専攻）（〜1998.3）
1996年　京都市芸術新人賞　受賞
1998年　京都造形芸術大学　非常勤講師（〜2003.3）
1998年　和歌山大学教育学部　専任教員　（現在にいたる）
1998年　キリンコンテンポラリーアワード98奨励賞　受賞

個展
1991年　ギャラリーすずき（京都）
1993年　アートスペース虹（京都）
1993年　ＩＮＡＸギャラリー（東京）
1994年　東京銀行（当時）神戸支店ショーウインドウギャラリー（神戸）
1994年　アートスペース虹（京都）
2001年　アートスペース虹（京都）
2004年　トキアートスペース（東京）
2005年　清課堂ギャラリー（京都）
2007年　メタル・アート・ミュージアム 光の谷（千葉）

選抜展・グループ展・ワークショップ・公共事業・他
1990年　京都市立美術大学ギャラリー（京都）
1991年　第４回横浜・神戸現代美術交流展　/大阪府立現代美術センター（大阪）
1995年　「アートは楽しい６　機械帝国」　/ハラ　ミュージアム　アーク（群馬）
1995年　「ＩＮＡＸギャラリー２　１５９回記念チャリティー展」
　ＩＮＡＸギャラリー（東京）
1996年　京都市芸術新人賞受賞作家展'９６　/京都市四条ギャラリー（京都）
1998年　「一日だけの賀谷ギャラリー」
　（小学校における鑑賞授業としてのワークショップ）
　神戸市立賀谷小学校（神戸）
1998年　第８回　芸術祭典・京　異分野交流部門「京・間'９８」
　東本願寺　渉成園［枳殻邸］(京都)
1998年　住宅都市整備公団　西宮浜団地　作品（レリーフ）設置
　西宮市　西宮浜団地（兵庫）
1998年　キリンコンテンポラリーアワード'９８　受賞作品展
　キリンアートスペース原宿（東京）　/キリンプラザ大阪（大阪）
1999年　ＨＡＡＳ　Ｐｒｏｊｅｃｔ（ソーラーカーによるアメリカ大陸横断プロジェクト）参加/ロングビーチ（カリフォルニア）〜ココアビーチ（フロリダ）
2000年　2000　新鋭美術選抜展　/京都市美術館（京都）
2001年　朝日放送「ベリグ！」番組セット内作品展示/ＡＢＣ朝日放送（大阪）
2002年　2002　新鋭美術選抜展　/京都市美術館（京都）
2003年　京都府美術工芸新鋭選抜展　2003新しい波（作品買上）
　京都府京都文化博物館（京都）
2003年　作家がつくるこどもいす展　/楓ギャラリー（大阪）
2003年　大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ2003
　新潟県越後妻有６市町村
2005年　2005　新鋭美術選抜展　/京都市美術館（京都）
2005年　小立体造形展　/清課堂ギャラリー（京都）
2006年　彫刻の力　/海岸通ギャラリー CASO（大阪）
2006年　京都大学大学院工学研究科桂キャンパス内　作品展示
　京都大学桂キャンパス（京都）
………………………………………………



続き... | トラックバック・コメント (378)

展覧会情報 : 笹谷 晃生 展　　玻璃上景ー雲彩ー

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-9-28 20:37:56 (2342 ヒット)

2007年10月23日(火)〜11月4日(日)
12:00〜19:00(最終日は17:00まで)
29日(日)休廊

………………………………………………
「玻璃上景 ー雲彩ー」（読みは、ボー・リ・シャン・ジン・イン・ツァイ）」は
中国語をもとにした表記で、意味は「ガラスの上の景色ー雲ー」。用いた写真の作品は、
象徴的な雲の形を彫りこんだガラス板（周囲は曇りガラスに加工）、
植物の形体を与えた銅、着色した木製フレームの３つの部分からなる立体。

今回の個展では、草木や雲のイメージを展開させた複数の作品とガラスの雲を紙に
写しとったエンボスの作品などを室内と庭に配し、2つの空間を関係付けながら
独自の景観を作りだしたいと考えています。

笹谷晃生
………………………………………………
………………………………………………
笹谷晃生（Sasatani Teruo）　略歴

１９５３年　兵庫県に生まれる
１９７７年　東京芸術大学 彫刻科卒業

受賞
１９９２年 第２回ＫＡＪＩＭＡ彫刻コンクール金賞
１９７７年 第8回タカシマヤ美術賞(彫刻)

発表
１９８６年 個展／コバヤシ画廊／東京
１９８９年 第２５回今日の作家展　かめ座のしるし（峯村敏明構想・構成）／
　横浜市民ギャラリー／ 横浜市
１９９０年 個展／なびす画廊／東京
１９９２年 第２回ＫＡＪＩＭＡ彫刻コンクール／鹿島ＫＩビル・アトリウム／東京
１９９３年 第２２回現代日本美術展／東京都美術館他／東京他
１９９３年 個展／ギャラリー日鉱／東京
１９９４年 サントリー美術館大賞展'９４／サントリー美術館／東京
１９９６年 個展／ギャラリー夢創館／神戸市
１９９６年 個展／ギャラリーアバ／名古屋
１９９７年 第６回国際 シューボックス彫刻展／ハワイ大学他／U.S.A.他
１９９７年 '９７兵庫の美術家／兵庫県立近代美術館／神戸市
１９９７年 個展／ギャラリーエフ／美濃加茂市
１９９８年 個展／グスト・ハウス／神戸市
２０００年 EARTH DAY 2000特別企画展　ー移ろいゆく「時」、静止・封印さ
　れたー「時」／ギャラリー夢創館／神戸市
２００１年 NO WHERE - NOW HERE ／Salon des Arts ／London U.K.
２００２年 タカシマヤ美術賞展／高島屋(日本橋、横浜、難波、京都)／東京他
２００２年 5th ANNIVERSARY／グスト・ハウス／神戸市
２００５年 個展／北ビワコホテル・グラツィエ／長浜市
２００７年 立体造形展Vol.11／ギャラリーけやき／三田市
………………………………………………

玻璃上景ー雲彩ー

続き... | トラックバック・コメント (1)

« 1 ... 3 4 5 (6) 7 »

Copyright (c) 2005 Gallery Yuragi. All rights reserved. | Design by d-uk
Powered by XOOPS 2.0.12 JP (c) 2001-2005 The XOOPS Project | Theme Design by artNOMAD